

「手話言語条例」

5会派が共同して条例づくり 都議会ですすむ新しい試み

今年、都議選で日本共産党、立憲民主党が前進し、自民党、公明党合せても過半数にならない、という事態が生れたことにより、都議会では「子どもの権利条例の満場一致の修正成立」「コロナ対策特別委員会の設置」などの前向きの変化が生まれました。こうした変化をつくり

18才までの医療費助成

共産党が条例提案 医師会などへの申し入れも

日本共産党都議団は11月30日から開かれている第4回定例都議会に、「子どもの医療費の助成に関する条例」と「青少年の医療費の助成に関する条例」の2つの条例案を提案します。前者は現在も行われている15才までの子どもの医療費2分の1助成を、3分の2まで東京都が引き

例」というものです。手話が「言語」であることを明確に位置づけ、聴覚障害のある人のコミュニケーション能力保障の向上を図ることが目的です。各党の担当都議が共同チームをつくり、関係団体の意見をきき、有識者からの話をきいて条例案づくりをすすめます。これが実現すれば全国でも初めてのことで、日本共産党での担当者は大山とも子、藤田りょう子都議です。

幹事長を先頭に都庁内で記者会見を行うとともに、東京都医師会、同歯科医師会、同薬剤師会を訪問し、条例案を説明、「実施のためちからをお貸し下さい」と協力をお願いしました。



記者会見を行う日本共産党都議団
右から4人目が和泉都議【写真:赤旗提供】

なおみの さわやか エッセー



新宿の空と葛飾の空

都庁を出て甲州街道を走っていると、新宿駅南口を左に見て正面に、大きな月が出ていることがあります。新宿で月を眺めるのは大変で、超高層ビルに切り取られた小さな空の、隙間に見える月は、とても大きく感じます。その月も、葛飾に帰ってくる頃には、かなり高いところまで昇っていますが、大きな空にぽっかりと浮かぶ月は、その周りに光輪をまどって、冴え冴えと明るく輝いています。

葛飾にきた人から、「空が広いね」と言われます。それを聞いたたびに、私は思います。「そうなんだ、葛飾に帰ってきたときに、ほっと気持ちが安らいで解放感を感じるのは、この空の大ききのせいなんだ」

家々が、隣同士手をつなぐように建っていて、人々が声を掛け合い、気に掛け合いながら暮らす、この街の上には、こんなにも大きな空が広がっている。そう思うと、なんだかうれしくなってきます。

この空を小さく切り刻む超高層ビルは、人々の暮らしぶりまで変えてしまうようで、やっぱり嫌なんです。



和泉なおみの 幹事長日誌



- 9日 木下都議の件で公営企業委員会開けずー対応をめぐって自民党と協議
- 10日 議会のあり方検討会打合せ
- 12日 議会運営委員会理事会
- 15日 木下議員への対応について断続的に会議・他党派と打合せ
- 16日 予算概要説明
- 17日 定例会提出案件について副知事から説明
- 18日 木下議員体調不良で議会運営委員会質疑に欠席
議会運営委員会理事会・委員会
MXテレビインタビュー取材
木下議員問題の取材(読売新聞、フジテレビ、MXテレビ、CBCテレビ、東京新聞)
- 19日 木下議員問題の取材(フジテレビ、毎日新聞、テレビ朝日)の取材
- 22日 木下氏議員辞職の記者会見
- 24日 議会運営委員会理事会・委員会
都議団弁護団との会議
- 25日 都議会連絡調整本部会議
- 26日 手話言語条例ワーキングチーム(大山議員の代理で出席)
- 29日 警察消防委員会
- 30日 議会運営委員会理事会
本会議開会
- 12月
- 1日 建通新聞インタビュー
- 2日 東京都歯科医師連盟会長と懇談
- 3日 MXテレビ収録
議会運営委員会理事会
条例提案・若者調査の記者会見
- 7日 本会議代表質問
- 8日 本会議一般質問

日本共産党都議会議員
和泉なおみの
生活・年金・法律相談
2022年1月12日(水)午後2時より
事前にお電話ください
場所 和泉なおみ事務所